

4 試験当日に持参するものおよび使用許可物件

(1) 持参するもの

- 受験票（写真貼付のこと）
- 筆記用具（詳細は以下「(2) 所持品の取り扱い」参照）
- 時計（詳細は以下「(2) 所持品の取り扱い」参照）
- 昼食
- 一般選抜入学試験要項（本冊子） *試験中には使用しませんが、持参をお勧めします。

(2) 所持品の取り扱い

試験中に使用を認めているもの（机の上においてよいもの）

- ・黒鉛筆（HB）もしくはシャープペンシル（HBで0.5mm以上の芯のもの）【和歌・格言等が印刷されているものは不可】
- ・鉛筆キャップ
- ・消しゴムとケース
- ・鉛筆削り【電動式・大型のもの・ナイフ類は不可】
- ・シャープペンシルの替芯（HB）とケース
- ・時計【辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、ストップウォッチ、大型のものは不可】

試験教室内では携帯電話・ウェアラブル端末（スマートウォッチ等）等は必ず電源を切ってください。各時限に電源がOFFになっているかを確認します。

時計にアラーム機能がついている場合は、必ず解除してください。

時計のストップウォッチ機能の使用は認めません。

試験時間中に携帯電話や時計などの音・振動が発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、監督者が持ち主の同意なく試験教室外に持ち出し、試験本部で保管することや、鳴動停止のための操作をすることがあります。

試験中に使用を認めないもの（机の上においてはいけないもの）

*持参した場合は、カバンに入れ、カバンの口を閉めて、自身の座席の下に置いてください。自身の座席の下が困難な場合は隣の空き座席の下等においてください。

- ・マーカー、カラーペン、色鉛筆、万年筆、ボールペン、筆箱など
- ・定規、コンパス、電卓、そろばん、下敷き、グラフ用紙等の補助具
- ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ等）、電子辞書、翻訳機、計算機、ICレコーダー等の電子機器類
- ・耳栓、サングラスなど
- ・眼鏡ケース

試験当日は、英単語や漢字などの文字、地図などが印刷されている衣類等は着用しないでください。印刷されている場合、脱衣・裏返し・上着着用などの指示をする場合や、監督者がテープ等を貼って覆い隠すことがあります。その分の試験時間の延長はしません。衣類の傷み等についても責任を負いません。

試験教室内の室温の調整には留意しますが、快適に感じる室温には個人差があることや、座席位置により温度差が生じる場合がありますので、試験当日は温度調節の可能な服装を心がけてください。

条件付きで試験中の使用を認めているもの

以下のものは、条件付きで試験中に使用することを許可します。なお、使用の際には、不正行為防止のため、監督者が点検することがあります。使用の際にかかる時間分の試験時間延長は行いません。

- ・ティッシュペーパー……袋から取り出した状態で机の上に置いておくこと。
- ・帽子……写真照合の際には外すこと。
- ・ハンカチ・ハンドタオル……試験開始前に机の上に置いておくこと。なるべく無地で、文字や地図が印刷されていないもの。
- ・ひざ掛け・座布団・マフラー・ストール……なるべく無地で、文字や地図が印刷されていないもの。
- ・カイロ……なるべく無地で、文字や地図が印刷されていないものを、衣服に貼る、ポケットに入れるなどすること。（手に持つ、膝に置く、机の上に置くなどは認められません。）
- ・薬・目薬……試験開始前に机の上に置いておくこと。服用・使用の際は挙手のうえ、監督者立会いのもとで行うこと。ただし、薬を服用の際は、一時退出して行うこと。
- ・飲料（水分補給）……監督者の許可がない限りかばんの中に入れておくこと。水分補給する際は挙手のうえ、監督者立会いのもとで一時的退出して行うこと。

試験時間中の飲食は禁止します。ペットボトルなどを机の上に置くことはできません。

5 試験時間中の諸注意

試験時間中(説明開始から終了後の退出まで)は、試験監督者、係員の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。

第1時限(経営学部で学ぶ感性+共通テスト)方式は第3時限)の集合時刻までに机の上に受験票を置いてください。「受験票(写真貼付)」は回収します。回収後および第2時限以降は、「受験票控」を机の上に置いてください。また、「受験票控」は合格発表時の受験番号控となりますので、大切に保管してください。

試験開始までに試験問題・解答用紙を配付しますが、監督者の指示があるまで開いてはいけません。

受験にあたっての諸注意が問題冊子の表紙(学部個別配点方式の「理科」は別紙)に記載されています。試験開始までに、必ず熟読してください。

学部や入試方式によっては、文系学部の「国語」「選択科目」や理系学部の「理科」において科目指定や科目選択の制限がある場合があります。出願前に必ず確認し、試験の際にも必ず問題冊子の表紙を確認し、間違いのないように注意してください。間違えた場合は、受験が無効となります。

時限ごとに「写真照合」を行います。本人と判断しづらい場合は、試験終了後に写真撮影を行うことがあります。

マークシート解答用紙にはあらかじめ「座席番号」が印字してあります。配付されたマークシート解答用紙が自分のものであるかを必ず受験票記載の座席番号と照合し確認してください。

試験時間中の退室は原則として認めません。試験中に気分が悪くなった場合等は、監督者に申し出てください。一時退室を認めることがありますが、その間の試験時間は保障しません。また、その科目の試験時間が終了するまで、帰宅は認めません。このほか、体調不良等により他の受験生の試験に大きな影響を及ぼす可能性があるとして本学が判断した場合、別室または別席での受験を求めることがありますが、試験時間中であっても、移動等にかかる時間は保障しません。

解答用紙は試験終了後、監督者の指示に従って必ず提出してください。1科目でも解答用紙を提出しなかった場合は、受験は不合格となります。

1科目でも欠席科目があった場合や、指定された科目以外の科目を受験した場合は不合格となります。

試験時間中の生活騒音(日常生活において通常起こりうる騒音等)等に対して、座席の移動、試験時間の保障など、特別な対応はしません。

<生活騒音等の例>

- ・会場外の音(風雨の音・雷鳴、航空機・鉄道・自動車・バイクの騒音、緊急自動車のサイレン音、工事の音、周囲の建物のチャイム音、廃品回収・販売・イベント等のアナウンス、動物の鳴き声等)
- ・会場内の音(空調・照明・エレベーター・エスカレーターの動作音など試験会場の施設・設備が発する音、施設の他の利用者の発生させる生活騒音等)
- ・試験室内の音(監督者の巡視の足音や打ち合わせ・指示・説明・板書や機器の操作等に伴い発する音、他の受験者の発する咳・くしゃみ・ため息・鼻をすする・寝息・筆記具を使用する等による音等、携帯電話・スマートフォン・携帯音楽プレーヤー・時計等の鳴動等)
- ・他の受験生の筆圧による机の揺れなど

机、椅子、空調、照明、音響設備、黒板・ホワイトボード・教材提示装置などの試験会場、試験教室、試験教室内の座席による条件の違いは一切考慮しません。

隣席の受験生のお手洗い、体調不良による入退室等、試験実施上やむを得ないと本学が判断した場合には、試験監督者が席を立つよう指示することがあります。その場合でも試験時間の延長等、特別な措置は行いません。

6 不正行為

(1)次のことをすると不正行為になります。不正行為を行った場合は、当該の試験および当該年度の受験はできなくなり、すでに受験した当該年度の入学試験も含め「全ての科目の成績を無効」とします。また、警察に被害届を提出する場合があります。なお、入学検定料は返還しません。

志願者情報、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入(受験票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・座席番号を記入するなど)をすること。

カンニング(試験の科目に関するメモやコピーなどを机の上等に置いたり見せたりすること、参考書の内容や他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。

他の受験生に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。

配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験教室から持ち出すこと。

解答用紙を試験教室から持ち出すこと。

試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。

試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。

試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。

試験終了の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。